

後輩へのメッセージ

新市場のマーケティング ～これからの京都土産～

この科目は京土産の新市場開拓を目指し、マーケティングの基礎知識を学びながら、グループで現地市場調査から商品企画・開発、そして最終的には株式会社美十の本社に対し、開発した商品のプレゼンテーションを行います。4つの班に分かれて、お互いを意識し、切磋琢磨しながらグループワークを重ねていきます。プロジェクト科目はやりたい事を持って履修する学生が多いため意見がぶつかる事が必ずあります。時に熱く議論したり、社会人の方からアドバイスを頂いたり、自分たちが何度も何度も議論した商品案が具体化され商品になったときの達成感言葉では表せません。

学生だけの枠にとらわれず、周囲の方たちを巻き込んで一つの新しい価値を創造するという“人と違う経験”は、必ず将来の皆さんの糧になります。履修を迷っている後輩の皆さんも一歩踏み出してみてください。今までの大学での生活とは比べものにならないくらい充実した時間になることを保証します。

KYOTOの文化やおもてなしを世界に発信

この科目を履修しようと思っている皆さんへ。
他の記事者の方々がおそらくとてもタメになることを書いていると思うので、私からはこの科目を履修した後、失敗しない方法をお伝えします。

《其の壹》自分から話す。

…自分から発信していかなければ他の科目と同じです！間違っていないので、自分から積極的に動いていきましょう！

《其の貳》役割分担を明確にする。

…チームメンバーには1人1人役割があります。その役割分担を明確にしておくこと、チームとして非常に効率的に進められると思います。

《其の参》批判しない。

…この科目には様々な学部の学生が参加しています。ということはそれだけの価値観があるということなので、意見が食い違うことは当たり前です。大切なのは、その意見を否定せずに「どうしたらチームとして良い成果を残せるか」をチームで考えることだと思います。

色々書きましたが、一番は皆さんが『楽しんでやること』だと思います！ぜひ、『楽しんで』有意義な時間を過ごしてください！

永遠の憧れ“絵本の世界”に出会うプロジェクト

私たち絵本の世界のプロジェクトは、すぐには結果が出ない園児さんに対してのアプローチで、雲をつかむような取り組みでした。

春学期は、現代の園児さんの興味を探ることから始まり、秋学期には大人でも大きいと感じる巨大な絵本の世界を幼稚園の園庭に作り上げることができました。

メンバーが集まって、机上で策を練るところからはじまり、造園業者さんと協力しながら汗を流す実作業のなか、規模が大きいのが故に何度も困難にぶつかりながらも、巨大絵本を作り上げました。

学生の間は、答えのない問いの中でどう自分たちがアプローチしていくかを学ぶ機会が少ないので、この科目に出会えて良かったです。

園児さんをはじめ、巨大な絵本の世界を体験した人が満足いくものを、学年や学部の壁を越えたメンバーと作り上げた経験は、決して忘れられないものになると思います。

留学生と創る「錦市場：京の食文化読本」制作プロジェクト

私は何か新しいことを始めたい、挑戦しようと思ったのがこのプロジェクトに携わるきっかけでした。この科目を履修して、何が一番驚き、何を得たかという「主体的に考え、行動する大切さ」を知ったことです。リーダーを務めさせてもらい、初めて学生が主体となって行う授業の始めはうまく自分たちの意見を口にできず、もやもやしたまま授業を終えることが多々ありました。しかし、次第に自分たちの意見を積極的に出し合い、意見をぶつけあうことで一つ一つの目標や目的が洗練されていきました。そして、社会の厳しさを感じ、責任感を持ち続け、主体的に物事を考えることのできるこのプロジェクト科目は自分自身の成長に繋がり、財産になるに違いありません。是非、プロジェクト科目を履修して自分の可能性を見つけてみてください。

ラジオで発信 ー若者と高齢者の音楽イベント制作

このプロジェクトは学生が主体となり自主性が求められます。高齢者福祉施設でのイベントやラジオ出演するのは大変楽しく、やりがいを感じました。しかし私は、実施よりもそれまでのプロセスに価値を感じています。また、企画・立案をすることは通常の講義ではなかなか経験できないものだと思います。さらに、コミュニケーション能力などの能力を鍛えることができました。

科目全体を通して学んだことは、特に事務手続きの方法です。この科目では会計や企画書など様々な書類提出を求められます。細かいことが多いですが、社会に出た時、こうした事務手続きというものは大変重要であり役に立つと思います。

このように、私は「通常講義」ではできない多くのことを経験し、学びました。講義授業では物足りない、何か刺激がほしいという方にはプロジェクト科目をおすすめします。もし、迷っているならば、ぜひ履修してみてください！きっとあなたの大きな力となるでしょう。

京都の伝統織物で感動を！ 魅力発見プロジェクト

プロジェクト科目では、学生の考えや意見をそのまま「形」にすることができます。私たちは、春学期に得た織物の知識と魅力を発信するため、秋学期に企画展として形にしました。実際に企画をイベント化するまでには、メンバー同士で企画展に関する認識を共有・統一しておくことが最も難しく、最も重要なので、積極的な意見交換や綿密なミーティングが必要です。プロジェクトなのでタスクも多く、全員が協力して進めていくことが大切ですが、京都で伝統織物に関する知識を深めながら、大きな成長と達成感を味わうことができます。どのようにして企画立案するのかなど、講義形式の授業では得られない、より実践的なスキルを吸収してほしいです。

後輩へのメッセージ

プロバスケを盛り上げよう！ ～認知向上・集客をマーケティング

私が1年間の活動を通して確信した事は、同志社大学においてプロジェクト科目以上にタフな授業はない、という事です。アクティブラーニングといわれる自分達主動の授業形態、他学部・他学年の人達とのグループ活動、私自身はそれに加え、代表としての全体の統括がありました。これら全て、私にとって初めての経験であり想像を絶する苦勞の連続でした。しかし、それと同時に大学生活においてかけがえのない経験でもありました。活動を通して得た事は「目先の事に捕らわれず、物事の本質を考える力」と「様々な人とのコミュニケーション能力」といった人間力の部分です。是非、今後もこのようなタフな授業を通じ多くの方に学んで頂きたいと思います。

地域循環型コミュニティの実現

この科目では、「上京区」に焦点を当て、上京区の歴史や特産品（味噌・豆腐など）を用いた「菓子開発」を行い、その商品を通じて「社会的弱者の雇用創出」を目的とした上京区活性化に取り組みました。

この科目を通じて、私は大きく2つのことを学びました。1つ目が「主体的行動」の大切さです。地域活性化を行うにあたり、受身の対応では何も生まれず、自ら主体的に「考え・学び・行動」していくことが、周りからの協力を得る「原動力」となることを学びました。

2つ目が「目的・目標の明確化」の重要性で、私たちは最終ゴールをメンバー間で十二分に共有できていたからこそ、メンバー全員で1つの目標に向かって最後まで取り組めたのだと私は実感しています。

先生をはじめメンバー13名と1年間この科目に取り組めたことは、私にとってかけがえのない経験です。

着物お洒落プロジェクト ～豊かな心と文化をつくる

僕が参加したプロジェクト「着物お洒落プロジェクト～豊かな心と文化をつくる」では、浴衣と着物の魅力をより多くの若者に伝えるために活動を行いました。プロジェクト科目では自分たちが主体的に学び、さらに能動的に動かなければ何も生み出すことができません。このプロジェクトでは春秋それぞれイベントを開催しましたが、中途半端な知識では来場者に魅力を伝えることはできないし、目を引くイベントが企画できなければ誰も参加すらしてくれなかったと思います。チームで動くことの難しさ、しかしチームで動くからこそ生まれる大きな力。他の科目ではできない経験がプロジェクト科目では経験できます。

「グルメ同志社のお店100選」 企画・発行プロジェクトについて

皆さんはじめまして。本プロジェクトのリーダーを勤めさせて頂きました瀬戸春香です。私たちのプロジェクトを一言でいうなら『紆余曲折』。はじめて創設されたプロジェクトというもあり前例がなく「どう自分たちが動いていくのか?」「このスケジュールで出版は間に合うのか?」といった具体的な進行を全て自分たちで決める必要がありました。もちろん上手くいく事ばかりではありません。壁にぶつかったときはメンバーと意見を戦わせ解決策をだしていかねばなりません。本プロジェクト科目を履修する学生は、主体性の本当の意味を知ることになると思います。そして取材させて頂いた店舗、関わって頂いた方への責任の重さも感じることでしょう。ゼロからのスタートは本当に苦しい。でも楽しい。やりきったといえる活動が必ずできます。ぜひ飛び込んでみてください。

学生×NGOで取り組む！ 地域～世界の課題に発言・提案しよう！

プロジェクト科目で学べるということのは多岐に渡るとは思います。本科目が他と異なるのは具体的なテーマ・目標が明確に定まっていないことです。

メンバーと何度も話し合いを重ね、科目担当者をはじめ周りの方にアドバイスを頂きながら課題を設定します。多くの方々の協力があり、メンバーからたくさん刺激を受けてはじめて成立するプロジェクトなのだと思います。来年度も本科目を通して多くの学生の方に「新しい課題」を解決して頂きたいと思っています。